

株式会社吉田酒造店 環境行動計画

平成23年6月23日

取組方針

株式会社吉田酒造店は、日本酒の製造及び販売をしております。酒とは、各々地域の風土の中で培われてきたものであり、その土地の水、米から醸され、土地の料理と共に人々に愛され育まれてきたものだと考えています。そこで、環境保全を会社経営の最重要課題のひとつと位置付け、全社員が地球環境への認識を深め、地域社会に貢献できるように推進します。私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を全社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーによる地球温暖化の防止
- ② 廃棄物の削減、リサイクル化への徹底
- ③ 作業効率の改善による省エネルギー化
- ④ 工場見学者に対し、環境へのPR活動
- ⑤ 5Sの徹底(整理・整頓・清掃・清潔・躰)

この方針に基づいて、全社員が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

2011年6月23日

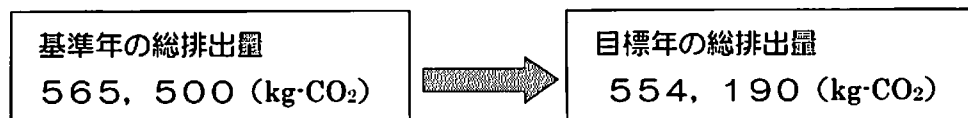
株式会社吉田酒造店

代表取締役社長 吉田隆一

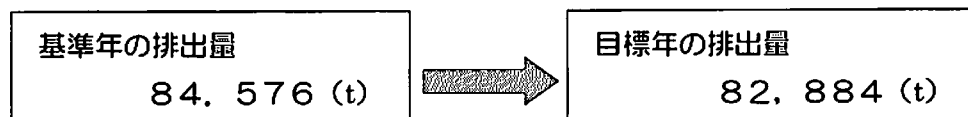
3 環境負荷の低減目標

25年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも22年度です。)

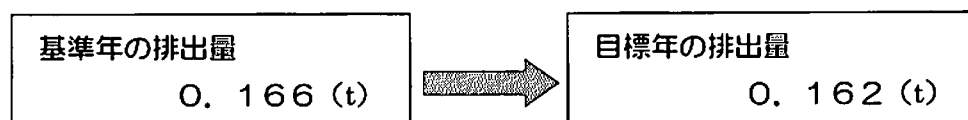
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



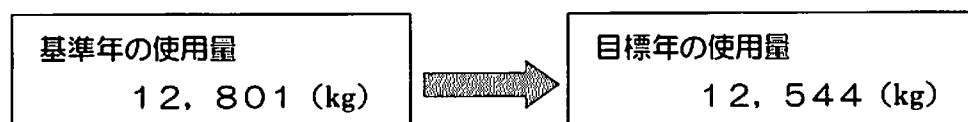
【目標2】 一般廃棄物の排出量を2%削減する



【目標3】 産業廃棄物の排出量を2%削減する



【目標4】 紙の使用量を2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエアー漏れを定期的に点検する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 空調機や照明器具などの点検・整備を定期的に行う

(事務・営業部門での取組)

- ・ 空調温度は適温に調節する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 一般廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 産業廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・ 運搬用梱包材を削減する
- ・ 運搬用梱包材を削減要請する
- ・ 梱包材のリサイクルに努める

【取組4】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する

【取組5】 グリーン購入の推進の取組

- ・ コピー用紙、印刷物は再生紙を使用する
- ・ 文具類などはエコマーク製品、グリーンマーク製品を優先的に購入する
- ・ 取引先の選定に際しては、環境保全の取組を行っているか否かを配慮する

【取組6】 地域の環境保全・環境教育の取組

- ・ 工場見学者に対し、太陽光発電表示装置により、環境へのPR活動を行う
- ・ 事業者のホームページに、環境への取組を紹介する

5 環境行動計画の実施体制

半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。